

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年11月

 全国保証株式会社

for your dream and happiness

証券コード: 7164

目次

- I . 決算の概要 P 3
- II . 今後の展開 P 11

2021年3月期 第2四半期決算サマリー

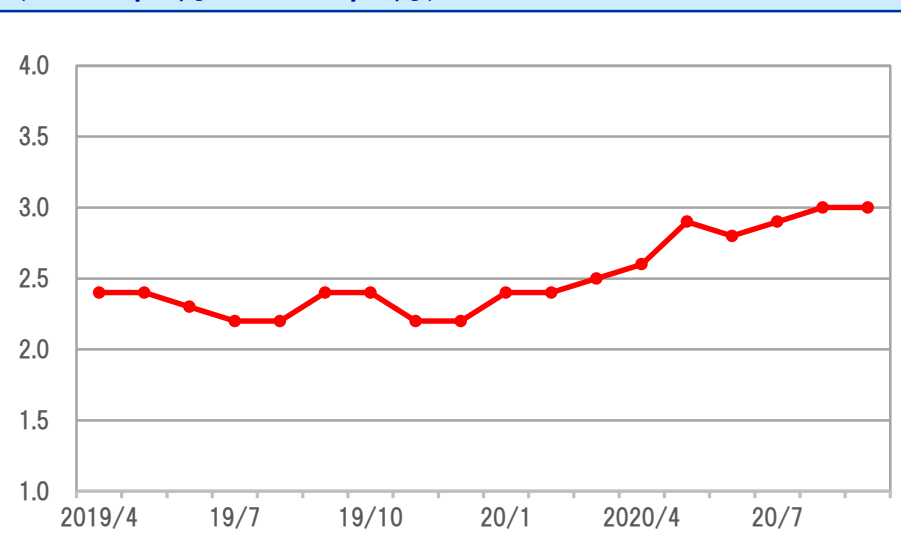
- 住宅市場は、政府の住宅取得支援策や、低金利環境が継続したものの、新設住宅着工戸数は前年同期を下回り推移、住宅ローン市場においても弱い動きが見られた
- 住宅市場や住宅ローン市場に弱い動きが見られるなか、新規保証実行件数および新規保証実行金額は前年同期を下回る
- 第2四半期累計期間において、大手地方銀行を含む銀行2行、JA1組合の合計3機関と契約締結
- 代位弁済は当初計画通り進捗、返済条件の変更対応による与信関連費用への影響は限定的であるが、引き続き注視が必要

I . 決算の概要

経済環境

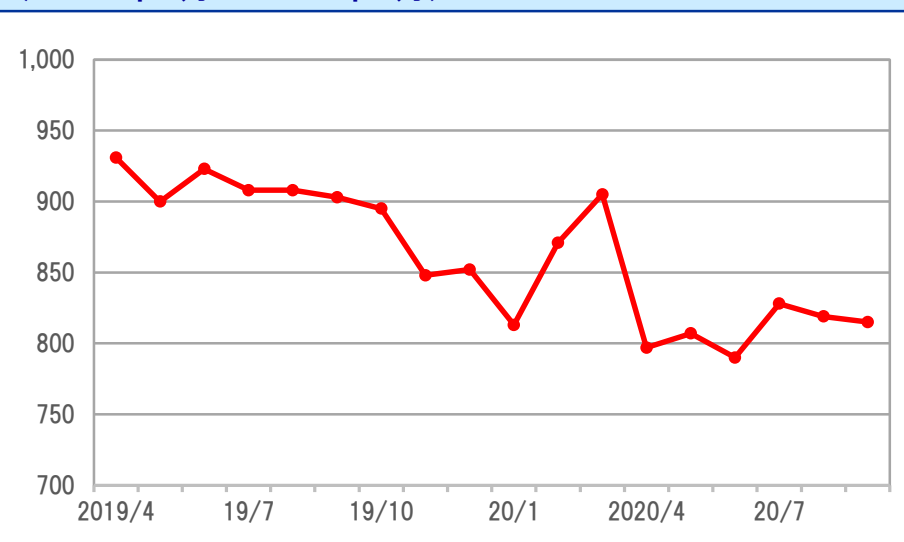
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として国内外経済が厳しい状況にあるなか、企業収益の大幅な減少のほか、雇用・所得環境ならびに個人消費においても弱い動きが続いた
- 住宅市場については、政府の住宅取得支援策や住宅ローンの低金利環境が継続したものの、新設住宅着工戸数は前年同期を下回る水準で推移
- 住宅ローン市場についても、住宅市場同様に弱い動きが見られた

失業率(季節調整値)
(2019年4月～2020年9月) (単位:%)



出所:総務省 労働力調査

新設住宅着工戸数(季節調整済年率換算戸数)
(2019年4月～2020年9月) (単位:千戸)

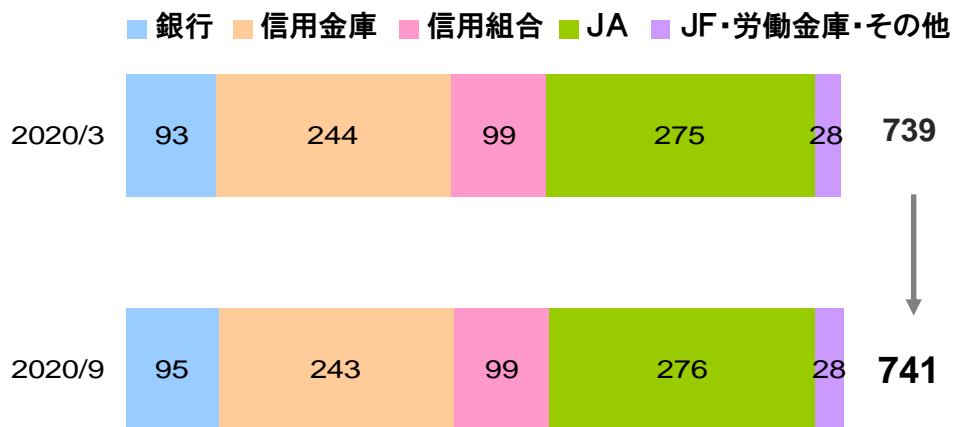


出所:国土交通省 住宅着工統計

金融機関との提携状況

業態別の提携金融機関数

(単位:機関)

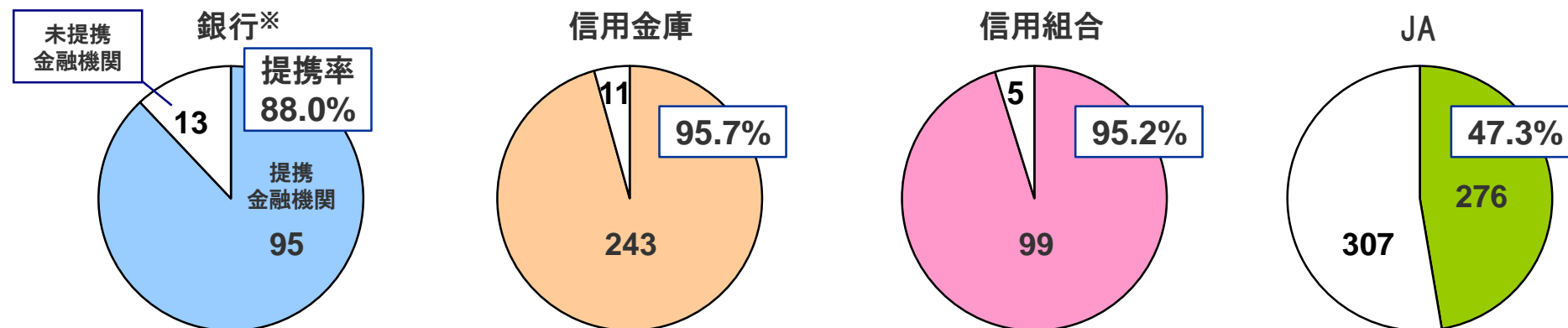


- 2021年3月期第2四半期累計期間において、銀行2行、JA1組合の合計3機関と契約締結一方、金融機関同士の合併により1機関が減少結果、提携金融機関数は741機関(前期末比2機関増)

新規提携	合併による減少	差引
3機関	▲1機関	2機関

業態別の提携シェア

(単位:機関)



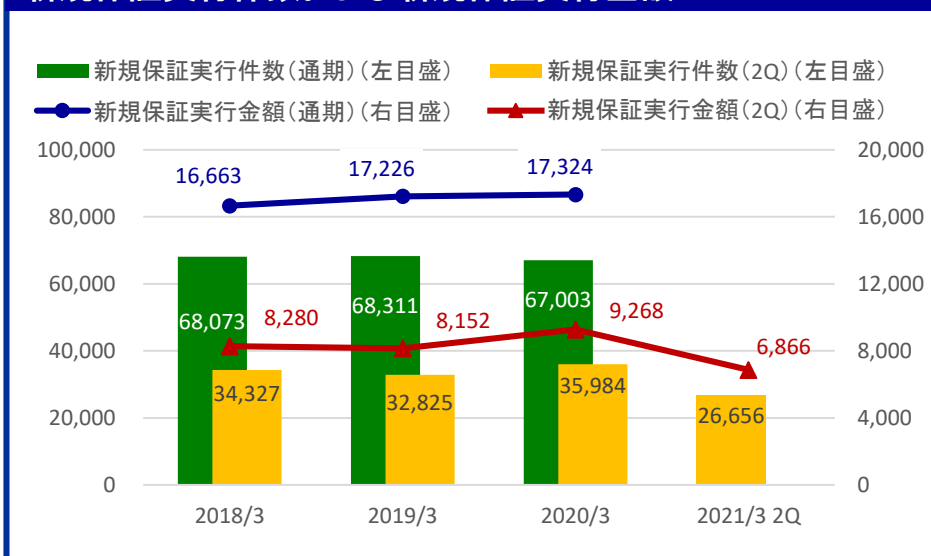
※銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、イオン銀行、新生銀行の合計

新規保証実行および保証債務残高の状況

2021年3月期計画	
保証債務残高	14兆8,400億円
新規保証実行件数	71,000件
代位弁済金額	13,420百万円
求償債権回収	9,370百万円

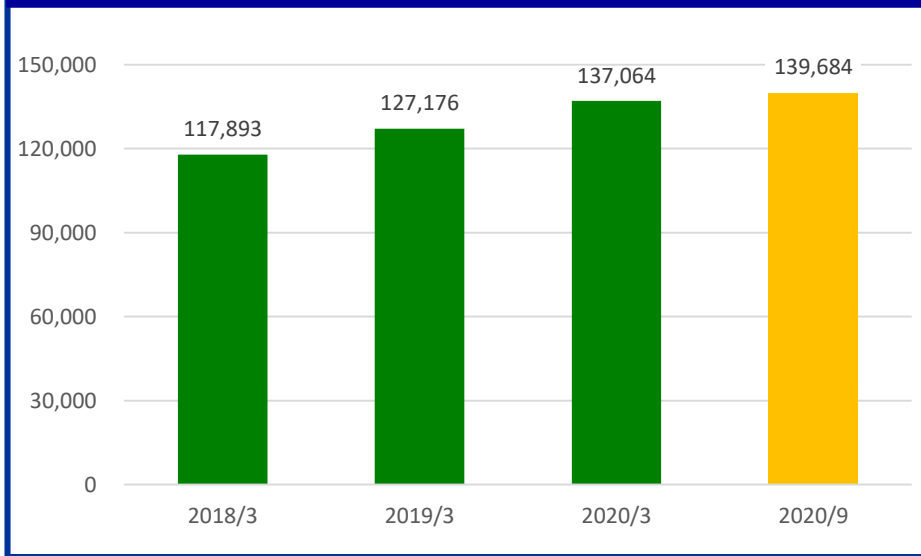
- 新規保証実行件数および新規保証実行金額
住宅市場や住宅ローン市場に弱い動きが見られるなか、新規保証実行件数は26,656件(前年同期比25.9%減)、新規保証実行金額は6,866億円となった(前年同期比25.9%減)
保証審査申込件数の増加に伴い、徐々に回復していくことを見込む
- 保証債務残高
金融機関との関係強化に加えて、他社の保証債務承継に引き続き取り組む

新規保証実行件数および新規保証実行金額 (単位:件、億円)



※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

保証債務残高 (単位:億円)



※子会社を含む

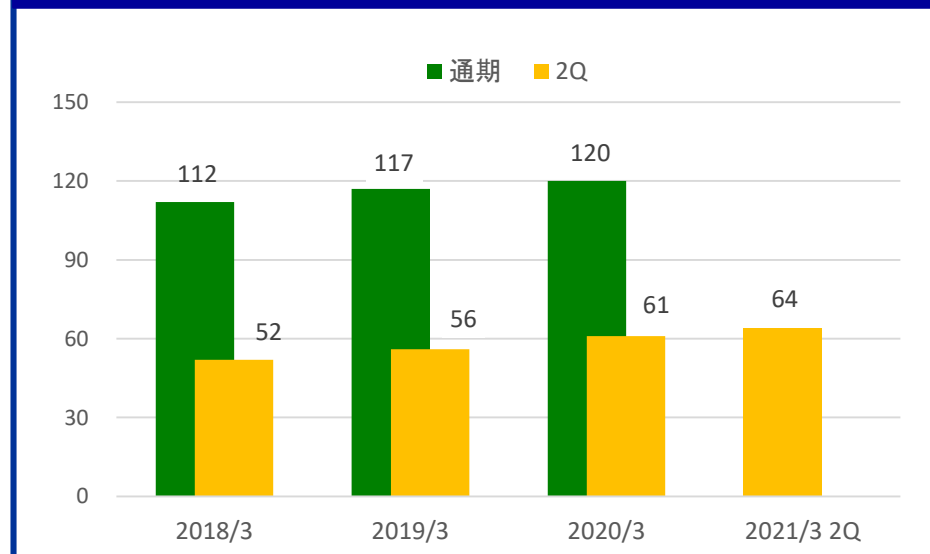
代位弁済金額および求償債権回収の状況

2021年3月期計画	
保証債務残高	14兆8,400億円
新規保証実行件数	71,000件
代位弁済金額	13,420百万円
求償債権回収	9,370百万円

- 代位弁済金額
代位弁済金額は計画通り進捗
引き続き、保証委託者の状況変化の早期把握に努める
- 求償債権回収金額
求償債権の回収金額は、計画を下回ったものの回復傾向
第3四半期以降は、更なる回復を見込む

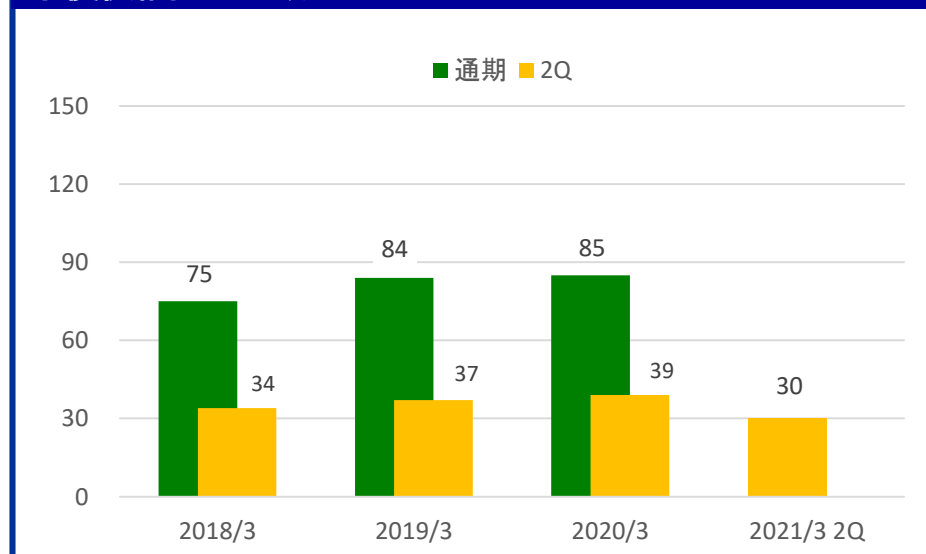
代位弁済金額

(単位:億円)



求償債権回収金額

(単位:億円)



2021年3月期 第2四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	20/3期 第2四半期	21/3期 第2四半期	前年 同期比	第2四半期 計画
営業収益	17,623	18,928	7.4%	19,000
営業費用	4,818	4,923	2.2%	5,060
うち与信関連費用	1,443	1,705	18.2%	1,600
債務保証損失引当金繰入額	1,408	1,610	14.3%	1,600
貸倒引当金繰入額	34	95	175.2%	0
うちその他	3,374	3,217	▲4.7%	3,460
営業利益	12,805	14,005	9.4%	13,940
経常利益	13,394	14,340	7.1%	14,000
四半期純利益	9,241	9,937	7.5%	9,670

ポイント

- **営業収益**
保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は189億28百万円を計上。
- **営業費用**
営業費用については計画通り進捗し49億23百万円を計上。
- **四半期純利益**
上記の状況により、四半期純利益は99億37百万円を計上。

2021年3月期 第2四半期決算サマリー(B/S)

	資産の部 (単位:百万円)		
	20/3期末	21/3期 第2四半期末	増減比
流動資産	204,500	180,231	▲11.9%
現金及び預金	191,595	162,228	▲15.3%
求償債権	13,652	16,049	17.6%
有価証券	5,731	9,226	61.0%
貸倒引当金	▲7,533	▲8,317	10.4%
固定資産	168,468	194,939	15.7%
投資その他の資産	167,535	194,068	15.8%
投資有価証券	138,701	168,484	21.5%
長期貸付金	2,850	2,622	▲8.0%
長期預金	19,000	16,000	▲15.8%
資産合計	372,968	375,171	0.6%

	負債の部 (単位:百万円)		
	20/3期末	21/3期 第2四半期末	増減比
流動負債	29,910	28,565	▲4.5%
前受収益	16,687	16,733	0.3%
債務保証損失引当金	5,905	5,872	▲0.6%
固定負債	198,008	197,941	▲0.0%
長期借入金	30,000	30,000	-
長期前受収益	167,944	167,864	▲0.0%
負債合計	227,919	226,507	▲0.6%
純資産の部			
株主資本	144,948	148,359	2.4%
評価・換算差額等	▲47	125	-
純資産合計	145,049	148,663	2.5%
負債・純資産合計	372,968	375,171	0.6%

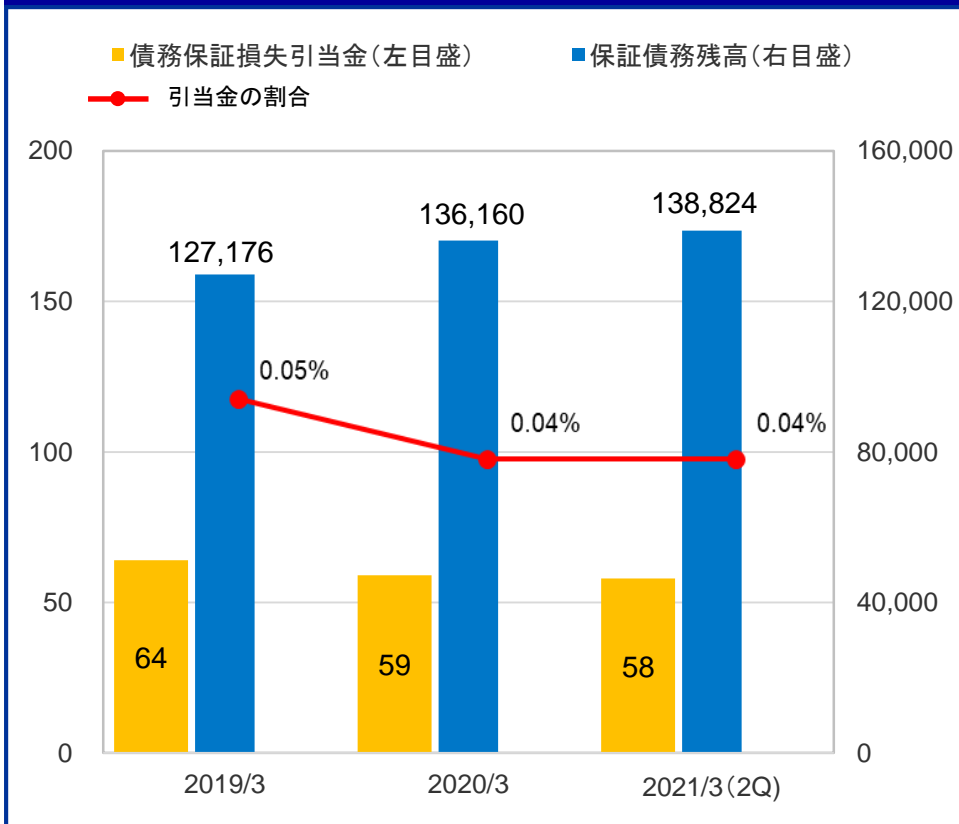
ポイント

- 資産
社債の購入により、現金及び預金が減少し投資その他の資産が増加。

債務保証損失引当金について

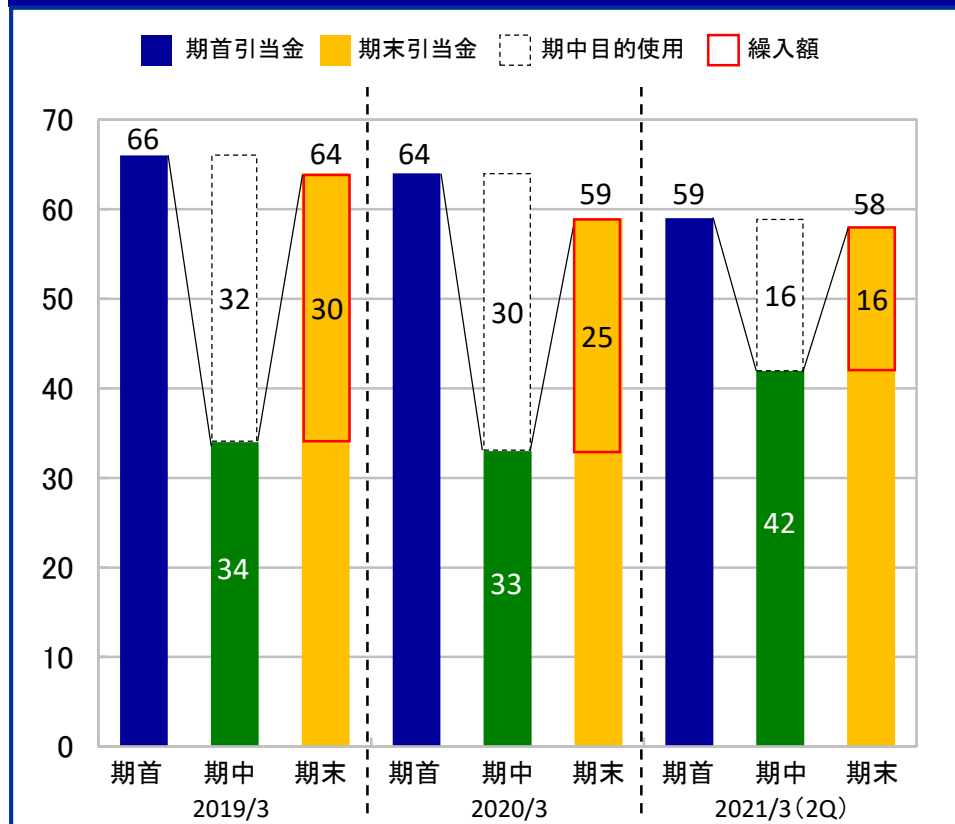
- 返済条件の変更対応により、条件変更実施先に対する引当金は増加、一方で延滞金額の減少などにより、債務保証損失引当金は期首引当金額とほぼ同額となった

債務保証損失引当金、保証債務残高の推移 (単位:億円)



※引当金の割合の値は小数第3位を四捨五入して表示しております

債務保証損失引当金の推移 (単位:億円)



※ 単位未満を切捨てているため、合計が一致しない場合があります

Ⅱ. 今後の展開

上半期の進捗状況・下半期の取り組み

		上半期の実績	下半期の取り組み
事業規模 拡大	金融機関との関係 強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 銀行2行、JA1組合の合計3機関と新規提携 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 引き続き新規提携を推進
	既存住宅ローン 市場へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 住宅ローン保証商品基準を一部改定ウェブ会議システムで説明会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 商品基準改定内容の理解浸透により利用率向上を図る
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ SMBCファイナンスサービス株式会社からの保証債務承継を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保証債務承継やRMBS(住宅ローン担保証券)取得による、保証残高増加に向けた取り組みを継続
事業領域 拡大	子会社の活用	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あけぼの債権回収株式会社のサービス業務拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 金融機関からの業務受託に向けた取り組みを継続
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ みのり信用保証株式会社の運営体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今後の事業展開に向けた取り組みを継続
企業価値 向上	業務の効率化推進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 審査関連業務の集中化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ システムを活用した効率化推進

業績予想

(単位:百万円)

	20/3期	21/3期		前期比
		第2四半期	通期予想	
営業収益	45,203	18,928	47,580	5.3%
営業費用	9,823	4,923	11,230	14.3%
うち与信関連費用	2,733	1,705	3,700	35.4%
債務保証損失引当金繰入額	2,547	1,610	3,700	45.2%
貸倒引当金繰入額	185	95	0	-
うちその他	7,090	3,217	7,530	6.2%
営業利益	35,379	14,005	36,350	2.7%
経常利益	35,760	14,340	36,870	3.1%
当期純利益	24,430	9,937	25,480	4.3%

業績予想の前提

保証債務残高	14兆8,400億円
新規保証実行件数	71,000件
代位弁済金額	13,420百万円
求償債権回収	9,370百万円

その他

EPS	370.42円
配当金(1株当たり)	111円
DOE	4.6%

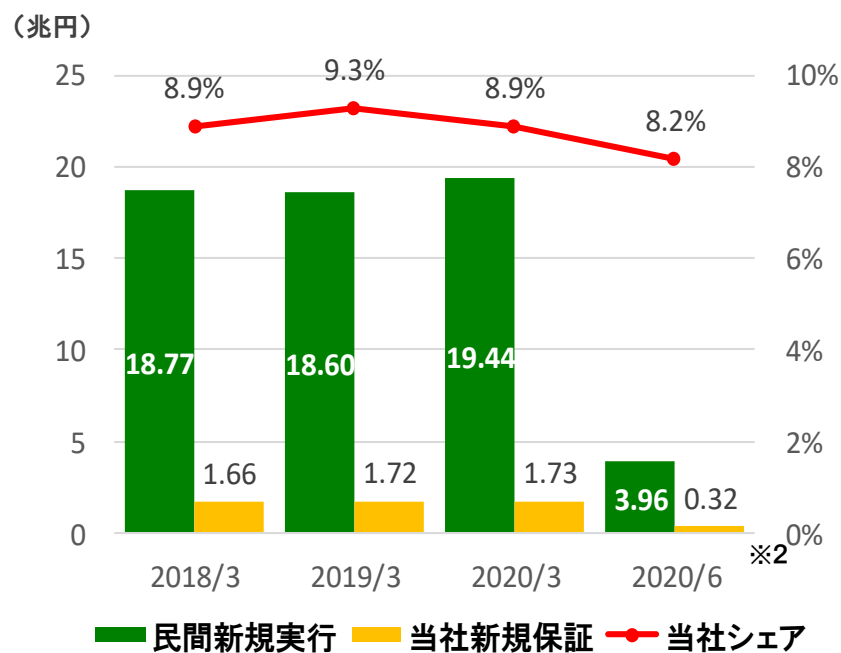
ポイント

業績予想に変更はありません。
新型コロナウイルス感染症の影響などにより、業績予想の変更が必要な場合には、速やかにお知らせいたします。

補足資料

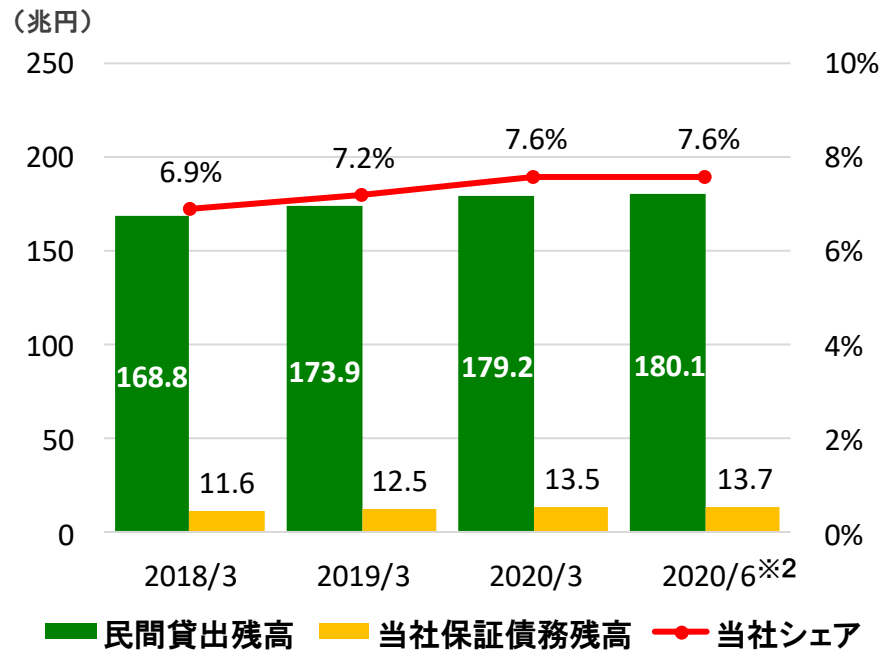
民間住宅ローン市場における当社利用シェアの状況

民間住宅ローン新規貸出金額※1



(単位:億円)

民間住宅ローン貸出残高※1



(単位:億円)

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2020年6月
民間住宅ローン新規貸出金額	187,767	186,031	194,456	39,669
新規保証実行金額	16,663	17,226	17,324	3,241
当社利用シェア	8.9%	9.3%	8.9%	8.2%

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2020年6月
民間住宅ローン貸出残高	1,688,060	1,739,938	1,792,584	1,801,134
保証債務残高(子会社含む)	116,308	125,744	135,740	137,064
当社利用シェア	6.9%	7.2%	7.6%	7.6%

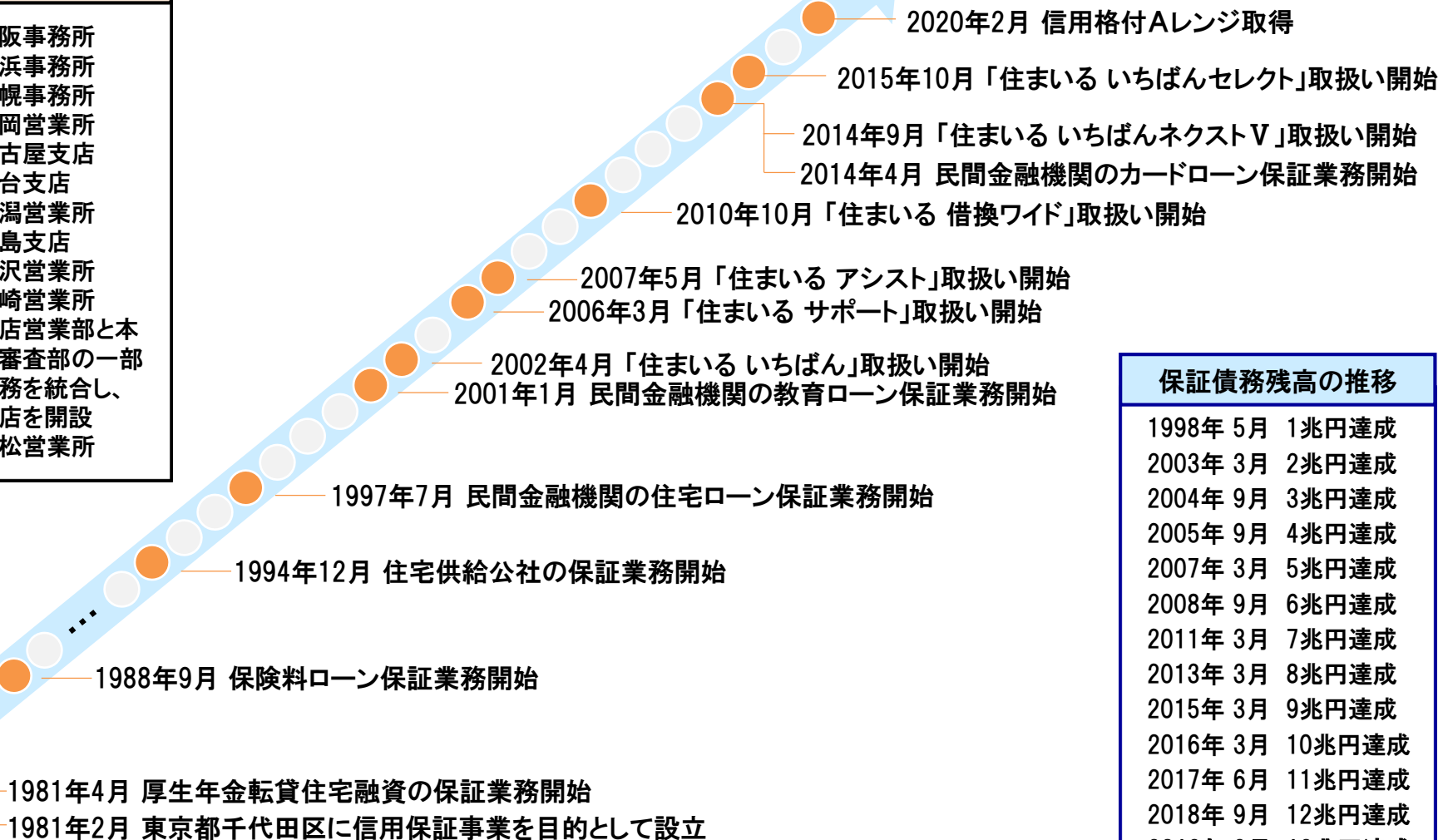
※1 民間住宅ローン新規貸出金額、貸出残高については、住宅金融支援機構「業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高の推移」より引用

15 ※2 データ取得時期の関係により直近数値は2020年6月末時点に記載

沿革

事業所(支店)の開設

1986年 3月	大阪事務所
1987年 4月	横浜事務所
1995年 8月	札幌事務所
1999年10月	福岡営業所
2002年 4月	名古屋支店
2002年 4月	仙台支店
2002年 5月	新潟営業所
2003年 1月	広島支店
2003年 4月	金沢営業所
2005年 5月	宮崎営業所
2007年 4月	本店営業部と本社審査部の一部業務を統合し、本店を開設
2015年 4月	高松営業所

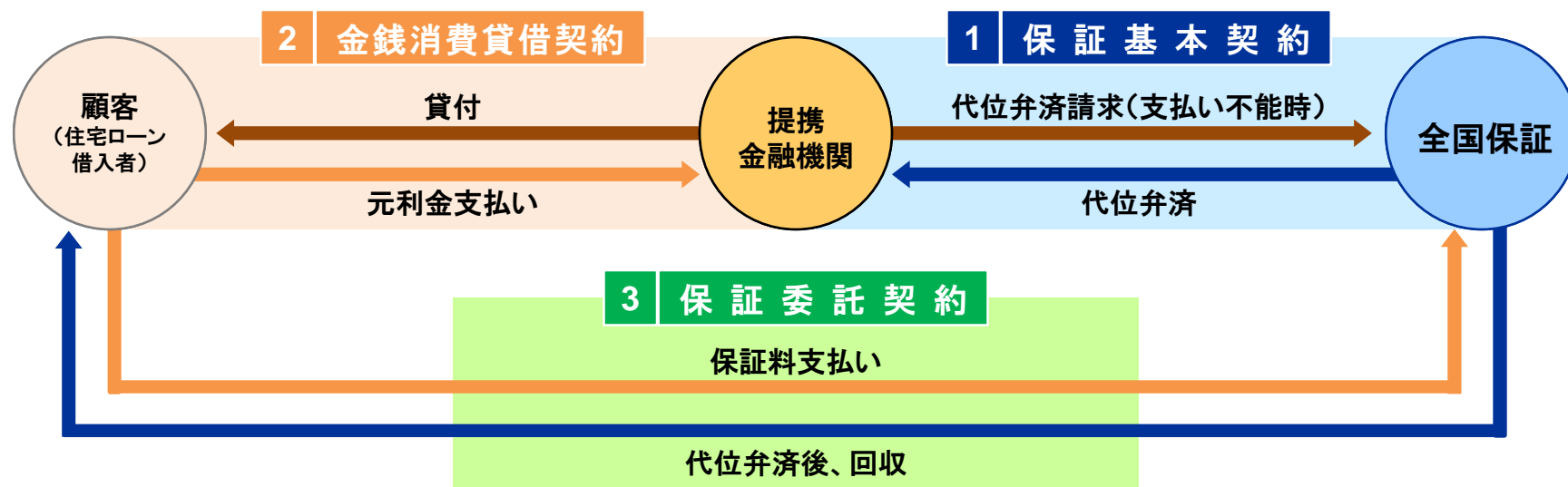


保証債務残高の推移

1998年 5月	1兆円達成
2003年 3月	2兆円達成
2004年 9月	3兆円達成
2005年 9月	4兆円達成
2007年 3月	5兆円達成
2008年 9月	6兆円達成
2011年 3月	7兆円達成
2013年 3月	8兆円達成
2015年 3月	9兆円達成
2016年 3月	10兆円達成
2017年 6月	11兆円達成
2018年 9月	12兆円達成
2019年 9月	13兆円達成

住宅ローン保証業務の関係図

- 住宅ローンは借入金額が大きく、返済期間が長期に亘るため、連帯保証人が必要
- 万が一の場合は連帯保証人の負担が重いため、当社の保証サービスが効果的



- | | |
|------------|--------------------------------------|
| 1 保証基本契約 | 当社と金融機関との基本契約。保証の引受、代位弁済等について定めている |
| 2 金銭消費貸借契約 | 顧客と金融機関との契約。金額、金利、期間等ローンの内容について定めている |
| 3 保証委託契約 | 顧客と当社との契約。この契約に基づき、当社が住宅ローンの連帯保証人となる |

免責条項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

この資料は投資家の参考に資するため、全国保証株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2020年11月5日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提や当社独自の判断に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。



全国保証株式会社

for your dream and happiness
